

神戸の朝をお届けします

港町神戸は日本でも有数の観光スポット。
歴史情緒溢れる街はおしゃれでしかもどこかレトロな雰囲気もたっぷり。
そんな神戸の「朝」は一日の素敵な始まりを告げてくれる心地よい時間。
+NUKUMORIはキラキラ輝く神戸の朝にピッタリなアイテムを
あなたにお届けします。



NPO 法人

兵庫セルプセンター

2019 年度 総会資料



私たちは障がいのある人たちの
働く願いと、作業所の元気を
社会につなぎます。

■ 法人概要

- 名称 特定非営利活動法人 兵庫セルフセンター - Non Profit Organization Hyogo Selp Center -
- 設立 2004（平成 16）年 1 月 26 日 設立
- 所在地 651-0062 神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター6 階
- 連絡先 TEL : 078-414-7311 FAX : 078-414-7312
- H P <https://www.hyogo-selp.jp/>
- MAIL contact@hyogo-selp.jp
- 代表者 理事長 山崎玲輔
- 事業目的 (定款 3 条) この法人は、障害福祉サービス事業所等に対して、販路拡大、障害者の職域開拓及び人材育成等の事業を行政、企業、地域住民等と連携して行うことにより、障害者の自立支援、社会参加、収入向上を推進し、障害福祉の増進と誰もが生き生きと働き、暮らせる社会づくりに寄与することを目的とする。
- 事業内容 (定款 5 条) (1) 障害福祉事業所の商品等の販路拡大を支援する事業
(2) 障害者の福祉的就労を支援する事業
(3) 障害福祉に関わる人材育成・研修事業、啓発活動及び障害福祉事業所の運営を支援する事業
(4) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業
(5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2018年度 事業報告



設立15年目を迎えた2018年度は、障害福祉サービス事業所と社会をつなぐ兵庫セルフセンターの事業目的をより明確にするために通常総会において定款の変更を行い、兵庫県委託事業・神戸ふれあい工房店舗運営・障害福祉サービス事業「マイ・ワークSEL P」の運営を通じて、各拠点・部門間が連携した販路拡大等の中間支援機能の強化に注力した。

中間支援と福祉サービス事業の連携については、グループウェアやITツールを駆使した情報共有を進め、受注案件の進捗管理等を共有することで業務効率化に一定の成果を得た。また業務の属人化防止と新人職員の早期の業務把握を狙い、定期的に業務マニュアルミーティングを実施し、業務マニュアルの明文化と改善を実施した。

課題としては、

- ① 明確なメニューとして提供出来ていない運営支援の具体化
- ② 行政等への政策提言機能の強化
- ③ 福祉サービス部門の収益化及び事業所の移転

が挙げられる。

- ①②については、正会員の事業所を中心とした事業所ネットワークの強化支援や構築支援を進めることで、兵庫県社会就労センター協議会との連携のもと、多様な中間支援の形を模索して行く。
- ③については、請求事務にITツールを導入することで利用者支援を強化し、利用者の定着を進めるとともに支援の軸を定め中間支援と連携した特色ある事業所運営を目指す。

- 販路拡大支援事業 -

売上実績	55,480,597 円
前年度実績	53,442,114 円
前年対比	103.8%

セルフセンターが契約主体となる売上実績はわずかでありますが前年を上回った。

企業と事業所での直接契約や事業所への仲介案件の増加はここ数年意図して取り組んでいることである。

2018 年度においては、清掃の年間契約（約 160 万円）

をセルフセンターから事業所へ契約主体を移管したにもかかわらず売上は伸びた。

「セルフセンターが受注して定期的の仕事とし事業所につないで行く」ということが、販路拡大支援の一つの成功モデルになる可能性を示す事例ではないかと考える。案件紹介を含めた仕事の受注量増大のためには、新たな分野の受注が重要であり、企業等との協業や他分野の専門家と連携した受注活動も今後試行する必要性を感じている。

- 福祉的就労支援事業 -

◆ 共同受注、しごと開拓

セルフセンターが契約主体となった実績は前項の通りである。地域ネットワークとの協働を図り、西播磨地域優先調達研修・連絡会への講師派遣・会議出席、兵庫県知的障害者施設協会生産活動・就労支援研修会への講師派遣、三田地域共同製品プロジェクト会議、たじまびつくり箱実行委員会等の地域ネットワーク会議に出席し、意見交換等を行った。

+ NUKUMORI ブランドの周知・PR を県広報誌、ラジオ、フェイスブック・インスタグラム等の SNS を通じて実施するとともに、障害者アート作品を使った包装紙を企画製作した。インターネットを使った PR に関しては、楽天市場に「神戸の朝」をキーワードとした商品を掲載したショップを開設し、上記の SNS とも連携した新規顧客への PR を実施した。

◆ 農福連携

みずほ協同農園の協力を得て、企業が運営する農場において事業所職員に農業専門家が継続的に研修を実施する「障害者アグリファーム事業」を新規に取り組んだ。5月から3月までの全 11 回に 9 事業所が継続的参加し、企業が経営する農園の作付け計画に沿った講義と実技を学んだ。事業所の営農計画に反映されるにはもう少し時



間がかかると思うが、農福連携への関心が高まる背景もあり、新規に農福連携に取り組む事業所への情報提供にもつなげていきたい。

◆ 専門家派遣、技術向上支援

事業所からの申請に基づきパティシエやデザイナー等の専門家を、年間を通して 47 事業所へ延べ 67 回派遣を行った。そのうち農業関係が、17 事業所 26 回であった。

専門家派遣事業と絡めた商品開発や商品コンテスト（スウィーツ甲子園、グルメ甲子園）参加事業所へのアドバイス支援も実施し、事業目的である工賃向上を図った。自ら申請書を記入する形式であるので、積極的に本事業を活用する事業所がある一方で、申請に至らない事業所への周知と希望する分野の専門家とのマッチングは課題として残っており、事業目的である工賃向上に向けては、申請書の事業計画の修正を依頼し、派遣分野の整理と派遣目的の整理をした上で実施する案件の増加が予想される。

- 人材育成・研修事業 -

共同受注関連では、西播磨地域優先調達研修・連絡会、兵庫県知的障害者施設協会生産活動・就労支援研修会への講師派遣を行った。その他にも、「NPO 法人しゃらく」が企画した「多様性を強みにするこれからのほたらくをつくる」セミナーに講師を派遣し、福祉事業所と他分野との連携について情報交換等を行った。

「NPO 法人ドットジェイピー」から大学生のインターンシップ生2名を2ヶ月間受け入れ、販売現場での企画や販売実務等を提供し、障害福祉の仕事の魅力を外部に発信することを試みた。

兵庫セルプセンター内部で進めるIT導入による事務効率化は、内部での改善は進みつつあるものの会員等事業所へのフィードバックする段階には至っておらず、課題



として残っている。

また、過去2年間実施してきた自主企画セミナーである「未来を担う福祉人財(材)セミナー」は、セルプセンター若手職員のスキルアップも意図し、セミナーの内容から見直し、検討会議を複数回行ない、2019年度の実施企画を計画した。(2019年5月開催予定)

各事業の推進及び新事業の創出等へ向けて、他府県(愛知県・滋賀県・京都府等)の福祉事業所等の先進事例を視察及び検証した。

- 障害福祉サービス事業 -

訓練等給付費 2018年度	15,748,036円
前年度	17,196,772円
前年対比	91.6%

利用者定着に至らず(8名退所)訓練等給付収入は減額であった。しかし内1名は一般就労者であり当事業所開設依頼初めて6ヶ月以上継続雇用を達成した。就労支援については更に継続して進めていきたい。

ここ数年は、役員を講師に毎月、チーム支援の実践や情報共有を目的に職員ミーティングを実施して来たが、中間支援団体が運営する福祉サービス事業所としての支援の軸を再構築し、課題が浮き彫りとなった利用者の獲得、定着に対処して行きたい。

就労訓練新たな取り組みとして、コミュニケーションに不安を抱える利用者が多い中で、利用者が主体的に発



言や会話を促進できるよう、毎回テーマを設定したグループワークを8回実施した。

請求事務効率化のためにITツールの試行を実施し、運用面で目処がたったことは、利用者支援への注力という観点から有益であったと考える。

このようなIT導入のみならず、中間支援団体が運営する特色ある事業所として、モデル事業を創出するためのステップ期間と捉え、販売拠点の移転も含め様々な試行を実施する方針である。

2018年度 活動計算書(案)
2018/04/01～2019/03/31
特定非営利活動法人 兵庫セルプセンター

円

科目	金額	
1.経常増減の部		
(1)経常収益		
受取会費・入会金		
正会員受取会費	420,000	
協力会員受取会費	180,000	
受取会費・入会金合計		600,000
受取寄付金		
受取寄付金	251,058	
受取寄付金合計		251,058
受取助成金等		
受取助成金等合計		0
事業収益		
商品等売上高	55,481,236	
受託料収益	34,137,000	
訓練等給付費収益	15,748,036	
事業収益合計		105,366,272
その他収益		
受取利息	218	
雑収益	9,200	
その他収益合計		9,418
経常収益合計		106,226,748
(2)経常費用		
事業費		
【人件費】		
役員報酬	660,000	
給料手当	23,397,945	
通勤費	942,720	
法定福利費	3,837,080	
福利厚生費	303,443	
【人件費計】		29,141,188
【その他費用】		
商品等仕入高	44,310,463	
利用者工賃	1,009,595	
旅費交通費	2,592,566	
研修費	231,625	
通信運搬費	1,846,265	
会議費	698,294	
消耗什器備品費	17,754	
広告宣伝費	953,581	
販売促進費	689,047	
消耗品費	768,224	
修繕費	276,190	
新聞図書費	20,148	
印刷製本費	2,456,757	
水道光熱費	221,174	
地代家賃	2,553,048	
賃借料	652,066	
会場費	562,307	
保険料	127,240	
交際費	19,364	
諸会費	173,612	
諸謝金	1,958,412	
レクリエーション費	171,090	
保健衛生費	66,850	
租税公課	2,375,650	
支払手数料	1,636,510	
業務委託費	3,597,832	

2018年度 活動計算書(案)
 2018/04/01～2019/03/31
 特定非営利活動法人 兵庫セルフセンター

円

科目	金額	
雑損失	22,530	
雑費	13,282	
減価償却費	1,723,082	
【その他費用計】		71,744,558
事業費合計		100,885,746
管理費		
【人件費】		
役員報酬	660,000	
法定福利費	159,614	
【人件費計】		819,614
【その他費用】		
旅費交通費	185,580	
会議費	14,904	
新聞図書費	3,998	
会場費	17,200	
保険料	5,000	
諸会費	15,300	
支払手数料	5,197	
【その他費用計】		247,179
管理費合計		1,066,793
経常費用計		101,952,539
当期経常増減額		4,274,209
2.経常外増減の部		
(1)経常外収益		
経常外収益合計		0
(2)経常外費用		
過年度損益修正損	54,174	
経常外費用計		54,174
当期経常外増減額		-54,174
税引前当期正味財産増減額		4,220,035
法人税、住民税及び事業税	1,065,600	
当期正味財産増減額		3,154,435
前期繰越正味財産額		27,230,557
次期繰越正味財産額		30,384,992

貸借対照表

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 兵庫セルブセンター (円)

I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金		未払金	11,347,984
現金	104,904	預り金	1,048,478
郵便振替口座	5,858,343	未払法人税等	1,065,600
普通預金	28,778,828	未払消費税等	1,198,100
現金預金合計	34,742,075	流動負債合計	14,660,162
他の流動資産		2. 固定負債	
未収金	9,461,362	長期未払費用	1,417,200
他の流動資産合計	9,461,362	固定負債合計	1,417,200
流動資産合計	44,203,437	負債合計	16,077,362
2. 固定資産		III 正味財産の部	
有形固定資産		前期繰越正味財産	27,230,557
車両運搬具	676,455	当期正味財産増減額	3,154,435
什器備品	1,237,682	正味財産合計	30,384,992
有形固定資産合計	1,914,137		
無形固定資産			
無形固定資産合計	0		
投資その他の資産			
敷金	150,000		
差入保証金	182,000		
リサイクル預託金	12,780		
投資その他の資産合計	344,780		
固定資産合計	2,258,917		
資産合計	46,462,354	負債正味財産合計	46,462,354

財 産 目 録
平成 31 年 3 月 31 日 現在
特定非営利活動法人 兵庫セルプセンター

(単位:円)

貸借対照表科目		金額
(流動資産)		
現金預金		
	現金	104,904
	--本部現金	21,164
	--古湊現金	9,244
	--ふれあい工房小口現金	496
	--ふれあい工房レジつり銭	59,000
	--古湊つり銭	15,000
	郵便振替口座	5,858,343
	--ゆうちょ銀行振替口座265281	1,120,539
	--ゆうちょ銀行振替(ふれあい)75151	4,737,804
	普通預金	28,778,828
	--みなと銀行本部1643386	3,031,433
	--みなと銀行本部1643394	7,128,925
	--みなと銀行本部1649856	899,304
	--みなと銀行ふれあい1646342	1,916,736
	--みなと銀行ふれあい1663697	3,744,612
	--みなと古湊運営083	11,455,433
	--ゆうちょ銀行古湊就労801	533,636
	--近畿労働金庫5017514	6,593
	--楽天銀行193	62,156
他の流動資産		
	未収金	9,461,362
	--国保連	2,221,283
	--企業等	6,831,021
	--会費	409,058
流動資産合計		44,203,437
(固定資産)		
有形固定資産		
	車両運搬具	676,455
	什器備品	1,237,682
無形固定資産		
投資その他の資産		
	敷金	150,000
	差入保証金	182,000
	--南(株)	54,000
	--県)社協	40,000
	--モアライフ神戸	88,000
	リサイクル預託金	12,780
固定資産合計		2,258,917
資産合計		46,462,354
(流動負債)		
	未払金	11,347,984
	--給料・交通費	2,769,062
	--工賃	135,498
	--社会保険料	778,311
	--諸経費	7,665,113
	預り金	1,048,478
	--源泉所得税(給与)	106,962
	--源泉所得税(謝金)	87,806
	--社会保険料	762,610
	--住民税	91,100
	未払法人税等	1,065,600
	未払消費税等	1,198,100
流動負債合計		14,660,162
(固定負債)		
	長期末払費用	1,417,200
固定負債合計		1,417,200
負債合計		16,077,362
正味財産合計		30,384,992

計算書類の注記

特定非営利活動法人兵庫セルプセンター

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日 2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産のうち車両運搬具は、法人税法の規程に基づいて定額法で償却しています。
有形固定資産のうち什器備品は、法人税法の規程に基づいて定率法で償却しています。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

4. 固定資産等の増減内訳

固定資産の増減は以下のとおりです。

科目	期首取得価額	期中取得	期中減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具	3,980,701	1,380,636	98,701	5,262,636	4,605,921	676,455
什器備品	3,642,030	注1		3,642,030	2,404,348	1,237,682
投資その他の資産						
敷金	150,000					150,000
差入保証金	182,000					182,000
リサイクル預託金		12,780				12,780
		注2				

注1：中古車両購入1台、再リース契約1台

注2：車両購入によるリサイクル預託金

5. 有利子負債はありません。担保に供しているものもありません。

監査報告書

2019年5月16日

特定非営利活動法人 兵庫セルフセンター

理事長 山崎玲輔 殿

監事 今井 和夫

監事 濱田 和弘



私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人兵庫セルフセンターの2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（活動計算書、貸借対照表及び財産目録）について監査を行った。

私たちは、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行った。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

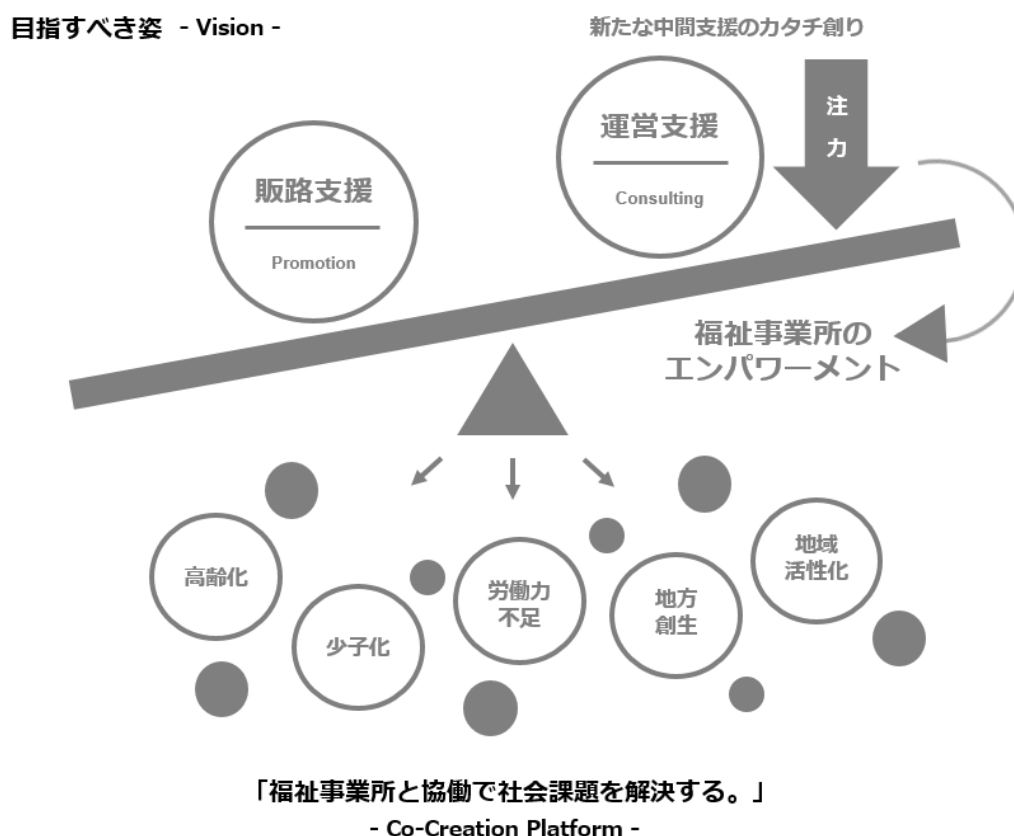
監査の結果、法人の業務は法令、定款及び事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって、私たちは、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人兵庫セルフセンターの2019年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財政状態を適正に表示しているものと認める。

以上

2019年 事業計画

設立時からのスローガン「障害のあるひとたちの働くねがいと作業所の元気を社会につなぐ」から思考し、2017年度総会で提案した目指すべき姿（下図）



このビジョンを実現するために下記の項目に注力して行きます。

- 販路拡大業務において、仕事を請ける事業所と発注者と共に考え、中間支援団体として仕事を「つなぐ」精度を向上させて行きます。
- 地域の事業所ネットワークと連携し共同受注機能を強化するとともに、各地域の情報や好事例を「つなぐ」ことに注力します。
- 兵庫県社会就労センターと連携し障害福祉に関わる人材育成を図るとともに、兵庫県全圏域の事業所の想いを行政に「つなぐ」政策提言機能を強化します。
- 福祉サービス部門マイワーク SELP の安定運営を進め自主財源を確保するとともに、事業所との協働で新たな事業開発を目指し事業所の活動を社会に「つなぎ」ます。

2019年 活動予算書

2019(平成31)年度 活動予算書		円	
2019/04/01~2020/03/31			
特定非営利活動法人 兵庫セルブセンター			
科目	金額		
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費・入会金			
正会員受取会費	450,000		
協力会員受取会費	200,000		
受取会費・入会金合計		650,000	
受取寄付金			
受取寄付金	300,000		
受取寄付金合計		300,000	
事業収益			
商品等売上高	61,000,000		
受託料収益	32,000,000		
訓練等給付費収益	20,000,000		
事業収益合計		113,000,000	
その他収益			
受取利息	1000		
その他収益合計		1,000	
経常収益合計			113,951,000
(2)経常費用			
事業費			
【人件費】			
給料手当	29,000,000		
通勤費	1,500,000		
法定福利費	4,700,000		
福利厚生費	300,000		
【人件費計】		35,500,000	
【その他費用】			
商品等仕入高	49,000,000		
利用者工賃	1,600,000		
旅費交通費	2,800,000		
研修費	200,000		
通信運搬費	2,200,000		
会議費	300,000		
消耗什器備品費	200,000		
広告宣伝費	500,000		
販売促進費	2,000,000		
消耗品費	1,000,000		
修繕費	200,000		
新聞図書費	100,000		
印刷製本費	1,000,000		
水道光熱費	300,000		
地代家賃	3,900,000		
会場費	300,000		
保険料	350,000		
諸会費	120,000		
交際費	100,000		
諸謝金	2,500,000		
レクリエーション費	100,000		
租税公課	2,500,000		
支払手数料	800,000		
支払寄付金	20,000		
業務委託費	2,500,000		
雑費	100,000		
減価償却費	1,500,000		
保健衛生費	50,000		
【その他費用計】		76,240,000	
事業費合計		111,740,000	

2019年 活動予算書

管理費			
【人件費】			
役員報酬	1,200,000		
【人件費計】		1,200,000	
【その他費用】			
旅費交通費	200,000		
通信運搬費	100,000		
消耗品費	25,000		
会議費	100,000		
水道光熱費	30,000		
地代家賃	100,000		
修繕費	100,000		
新聞図書費	20,000		
会場費	50,000		
保険料	20,000		
諸会費	70,000		
交際費	30,000		
租税公課	20,000		
支払手数料	20,000		
業務委託費	50,000		
雑費	10,000		
減価償却費	30,000		
【その他費用計】		975,000	
管理費合計		2,175,000	
経常費用計			113,915,000
当期経常増減額			36,000
前期繰越正味財産額			27,366,557
次期繰越正味財産額			27,402,557